



静岡県教育委員会教育長賞

犬との出会い

五年 杉本琉絆

わたしは、去年の九月にはじめてペットをむかえました。ペットの種類は犬、チワワで名前はろこです。犬が家に来たときは四ヶ月の赤ちゃんでした。

わたしは小さいころからずっと犬かねこをかいたく、両親に相談していましたが、わたしが少年団に入っていて、散歩やお世話をする時間もないのでかうことを反対されていました。ろここと出会った日もいつものようにホームセンターのペット売り場で犬やねこを見ていました。この日も買い物が終わった両親に

「犬をかいたい」

と、言いましたが最初は反対されました。

しかし、父は小さいときに犬やねこをかっていたこともあって、わたしと妹が犬がほしいと言いつづけたら少し考えてくれるようになりました。母は何もなかったことがないので、ペットとの生活がわからないと反対でした。

犬をかうにはどうしたらいいのか話をしながら家へ帰ってきました。このときの家は下に物が置いてあったり、充電器の線があったり犬をむかえられる環境ではありませんでした。

犬をかうことをあきらめていたとき、父が

「ちょっとこの犬見に行かない。」

と、言いました。父は帰ってからも近くのペットショップにいる子たちを見ていました。急に決まったけど、すぐしろこを見に行きました。

ペットショップについて、抱っこさせてもらいました。とてもかわいくて連れて帰りたいと思っていたら、いつの間にかかうことが決まっていました。本当は一緒に帰りたいけど、家の準備をするためもう少しペットショップにいてもらいました。帰ってからはろこと一緒にくらせるように、ろこの家を用意して大忙しでした。

学校から帰ったらろこがいた日、とてもうれしかったし、ろこはとてもかわいかったです。トイレを教えるのは大変でした。一緒にいっぱい遊びたいと思っていただけ、赤ちゃんのろこはつかれてすぐねちやうことが多かったです。

最初はかわいいからかいきたいと言う気持ちだけでしたが、実際にうちに来たら大変なことやわからないこともいっぱいでした。ドッグトレーナーさんに相談したり、家族と協力しながら育ててきました。言葉を話せるわけではないけど、学校から帰ってくるとしっぽをふって走ってきてくれたり、そばでねていたりとてもかわいいです。一緒に過ごす時間も増えて、ろこは家族の一員だと思っています。これからも初めてのろこに会った日のことも忘れず、一緒に大きくなっていきたいです。